

WHO ファクトシート

リンパ系フィラリア症

Lymphatic filariasis

2017年3月

重要な事実

- ・リンパ系フィラリア症は、リンパ系システムを害し、身体の一部が異常に肥大化することもあり、痛みや重篤な障害や社会的スティグマを引き起こしたりすることがある。
- ・世界では54カ国9億4700万人が、今でもリンパ系フィラリア症の脅威にさらされており、この寄生虫感染症の感染拡大を防止する予防的薬学療法を必要としている。
- ・2000年には1億2000万人以上が感染しており、その内4000万人は疾病によって外観上機能上の障害を負っていた。
- ・リンパ系フィラリア症は、少なくとも5年間にわたり毎年安全な薬剤組合せによる予防的薬学療法を繰り返して感染拡大を阻止することにより撲滅することができる。2000年以来感染拡大を止めるための62億回の投与が行われてきた。
- ・WHOの戦略の遂行が成功したことにより、3億5100万人の人々には、もはや予防的薬学療法を必要としなくなっている。
- ・基本的で推奨されている一連の治療法は、リンパ系フィラリア症を患いながら生活する人々の苦痛を軽減し、障害が更に進むことを防ぐことができる。

本件ファクトシートについては厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)でも全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Lymphatic filariasis ファクトシート原文は [こちら](#)